

## 活動計画書 / 活動実施計画書

団体名： 名駅東花車・船入地区まちづくりの会

### 1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

C-1	多様な課題を共有して連携と助け合いですすめる災害に強いまちづくり
F-2	これまでに形成された地域コミュニティや歴史資源を大切にしたまちづくり

### 2 活動対象地域の概要

所在	名古屋市中村区名駅五丁目1番～23番
面積	約5.8ヘクタール（バンテリンドーム ナゴヤの1.2倍）
特性・資源	名古屋駅から徒歩圏内という利便性の高い立地であり、戦後に拡幅された幹線道路沿いには市街地改造事業によって建築された複合用途ビルがある一方、街路網が未整備の地域中央部には戸建て住宅や小規模共同住宅などが混在しています。地域内で行われる花車神明社祭（名駅山車揃え）では、3両の山車が揃って「からくり演技」の奉納が行われます。
現況・課題	区分所有建物である花車ビル3館は、完成から50年以上経過していて建物の維持管理・耐震性・権利者の複雑化などの課題があります。地域中央部は、地震による道路閉塞や木造建築物の防火対策など防災上の課題があります。また、住人・地権者・事業者・来訪者など様々な立場の方々の想いが多様であることや、地域内住人の減少により山車文化などの歴史資源を継承する担い手が不足しているという課題もあります。

### 3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

<p>令和2年度は、ホームページを開設し情報発信の基盤を作り、構想づくりをキックオフする為の勉強会を行いました。</p> <p>令和3年度は、まち歩きや祭り文化を学ぶ地域交流イベントを開催し、構想づくりを進める勉強会と地域アンケート調査を実施しました。</p> <p>令和4年度は、アンケート結果を掘り下げる勉強会、人々が楽しく交流したマルシェ、まちの将来像を考える勉強会を開催しました。そして、構想の理念・方針などを整理したビジョンシート「はなぐるまちづくり構想」を製作・公表し、まちづくりの方向性や全体像を示すことができました。</p> <p>令和5年度は名古屋駅周辺のまちづくり構想の理解を深める勉強会、他の街協団体を訪問しての防災活動の情報収集、名古屋市との情報交換や協議を行いました。そして、コンサルタント委託により地域の現状や防災上の課題を専門的な見地をもって整理でき、助成の成果物として高度な構想資料「はなぐるまちづくり構想の進め方」を製作し、多様な関係者にとっての共有価値となるような『まちのルールづくり』を進めていくという新たな方向性が定まりました。</p>
--

#### 4 助成を受けようとする活動の目的

災害に強い街を目指して地域特性を踏まえた面的なまちづくりを進めるにあたり、権利者から出される意見への対応や名古屋市との協議・調整などにおいて、委託したコンサルタントが有する都市計画などの専門的な知見を参考として、地区計画素案のたたき台を製作し、これまでに作りあげた構想を現実のものとしていくことが目的です。

#### 5 助成を受けようとする今年度の活動およびコンサルタントへの委託業務内容（役割分担）

##### <団体>

前年度までの活動や製作した資料「はなぐるまちづくり構想の進め方」を、地域に集う人々をつなぎ、絆を深める土台とした上で、「楽しさ」を周りの人とシェアする観点も大切にし、以下の2つの活動を行います。

- ① 地区計画づくり：災害に強い街を目指し、会員以外でも参加いただける地区計画検討会(仮称)の開催などを通じ、多様な方々にとっての共有価値となるような『まちのルールづくり』を進めていきます
- ② 合意形成づくり：小さなアクションとしての顔合わせや、資料配布、説明会やイベントの開催などで『絆づくり』を進めていきます。

また、「地区計画を作ることのメリットや作らないことのデメリット」など、地区計画をつくる意義に関する合意や動機付けの工夫も検討します。

##### <コンサルタント>

まちのルールづくりに伴う名古屋市との協議・調整と、地区計画素案の製作に携わっていただきます。予算は55万円。必要に応じて地域関係者へのヒアリングを行い、毎月の理事会等での協議を重ね、令和7年2月までに素案のたたき台の完成を目指します。地区計画素案には次の8つの要素を盛り込むことを想定しています。

道路、公園、土地利用、地下鉄駅、堀川、遊歩道、社寺、山車。

また、この要素と要素の間(道とお店のつながり方、住宅地と水辺のつながり方など)、中間の使い方、作り方への創意工夫も検討します。

#### 6 今年度の活動実施の際に協力・調整等が必要となる関係者等

- ① **名古屋市**・・・地域まちづくりの推進、都市計画に係る許認可、花車ビル三館の建設(市街地改造事業施行)の行政主体であり、構想づくりに向けて総合的な助言、指導、協力をいただき活動実施を図る考えです。
- ② **花車ビル三館の各管理組合**・・・経年に伴う修繕や建替の計画は本地域まちづくりに大きく関わりがあり、組合員も多いことから、三館の管理組合それぞれに組合会員として参加を要請し、連携を図っていく考えです。
- ③ **町内会(5団体)、子供会、新明学区**・・・構想づくりへ進める各ステップにおいて、地域コミュニティを構成する組織と相互に協力できる関係は重要であり、情報交換や調整を図りながら活動していく考えです。
- ④ **山車保存会**・・・構想づくりには、貴重な山車文化のこれからの継承・保存も重要なテーマと考えられるので、そのために当会が果たせる役割の観点から協力関係を築いていく考えです。

## 7 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
適宜 毎月	地域住民や地域の代表者等との意見交換 コンサルタントとの協議、情報交換、専門的知識の学習
R6年6月1日 R6年6月～ R6年7月 R7年2月	トークイベント(地域防災と地区計画づくりの説明会&座談会)の開催 地区計画検討会(仮称)の開始 会員総会(今年度の活動内容の告知) 地区計画素案のたたき台の完成

## 8 (構想策定・事業化検討)の想定プロセスと(構想策定後・事業化実現まで)の展望

### 構想の策定までのプロセス

#### ●地区計画づくりの認知を図る

(資料制作、HPやSNS等での発信、勉強会開催、「コト」の仕掛けや展開ができる専門家も活用して地域交流が進む活動を計画)

#### ●地域内の合意形成を図る

(地区計画策定委員会(仮称)で意見集約、権利者との個別対話、関係者との顔合わせ、将来のまちづくりのイメージの共有、話し合いに参加できない人への配慮)

#### ●地区計画素案のたたき台を作る

(地域にふさわしい地区計画の検討、名古屋市との情報交換や協議、地区計画の具体案の提示、課題解決の積み上げ)

#### ●構想実現の為の事業手法を知る

(コンサルタントから事業化検討の助言を受ける、他地域の事例を研究する、行政と連携する)

### 構想策定後の展望

#### ●当会が目標とするまちの姿は、『誰をも受け入れる新しい時代の実りある街』です。

活動地域の広さはバンテリンドームナゴヤの1.2倍にあたる約5.8ヘクタールあり、広範囲かつ多面的な「はなぐるまちづくり構想」には、「前例がない」や「不可能だ」との声も聴かれますが、「まちづくりで“できる”がね!」の気持ちで活動を続けていきます。

#### ●これまでに寄せられた「安心安全」への高い関心に応えるため、命を守る「防災」としての取り組みを強化し、『新しい時代の災害に強いまちづくり』を進めます。

●多様な立場と多様な価値観が混在する中で、大きな声・小さな声の方のみならず、声なき声をお持ちの方にも配慮し、権利者・行政・コンサルタント等と連携しながら、種をまき花が咲いて地域魅力が向上するよう貢献して参ります。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格A4とする。